

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	訪問支援ひかりっこ		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日	～	令和7年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 25名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	令和7年1月1日	～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	令和6年10月1日	～	令和7年3月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 16	(回答数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園・学校における“気になる子”に対して、保護者のニーズに沿って、保護者が見られない様子を第三者の目線で観察し、客観的な様子の分析や支援の実施を行うことができる。	園・学校の教育的観点を尊重し、先生の負担にならないような配慮をして支援や助言をしている。 観察時の様子や支援員の支援等について、詳細に記録し報告書を作成している。また面談を通して説明をしている。	個別支援計画に則り、支援方法や観察時の視点などを明確にししながら、より充実した支援を提供する。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	面談場所の設定 面談スペースを設けているが、他者の出入りがある場所であり、プライバシーへの配慮が十分でない(アンケート結果より)	面談スペースについて、他事業(児童発達支援、認可外保育等)との兼ね合いを見ながらスペースを確保する。	保育所等訪問支援における面談では、個室スペースでの面談に切り替え、保護者が安心してお話ができる・お話が聞ける環境を提供する。
2	訪問支援実施後の先生との共有について 授業後など、園・学校での時間内に先生との情報共有についてより密に行いたい意見が聞かれた(アンケート結果より)	園・学校によって、時間内に先生との情報共有ができるかどうか異なる。施設ごとに情報共有の手段について配慮はしているが、十分でなかった。 また訪問支援を行う上での支援目標やニーズの抽出についても十分に先生との確認ができていなかった。	園・学校ごとに情報共有の手段については打ち合わせを重ねつつ、来園・来校時間以外の情報共有についても検討し設けていくこととする。
3			